

ハーブの摂取がアレルギーの症状を抑える

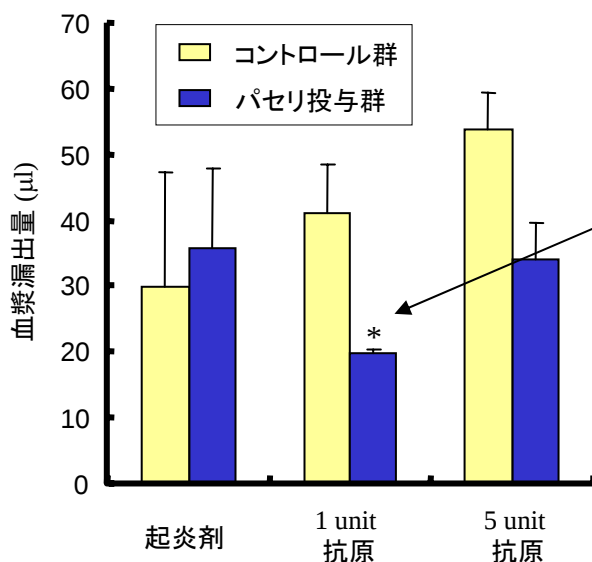
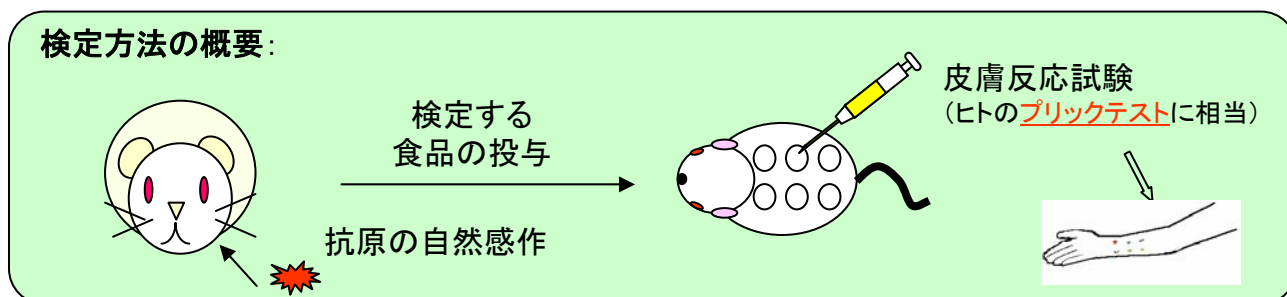
技術の特徴

- ・ アレルギーモデルマウスにハーブ凍結乾燥物を摂取させたところ、即時型アレルギーによる炎症が抑制された。

研究の内容

- ・ 食品のような弱い抗アレルギー活性でも高感度に測定することのできるアレルギーモデルマウス系を確立し、その系を用いて、ハーブ類の即時型アレルギー反応に対する効果を検討した。

検定方法の概要:



検討に用いた13種のハーブのうち、パセリ凍結乾燥物を投与した群が、最も高い血漿漏出量の抑制を示した。

今後の展開

- ・ 抗アレルギー活性成分の単離・同定
- ・ 有効濃度の検討

参考

- ・ 石川祐子、後藤真生、新本洋士: パセリ乾燥物の即時型アレルギーおよび脾臓細胞のサイトカイン産生に与える影響, 日本農芸化学会2006年度大会
- ・ 石川祐子、後藤真生、八巻幸二: 香草(ハーブ)・香辛料の摂取がアレルギー性炎症を抑制する可能性の検討と、その免疫系に及ぼす影響の解明(財)すかいらーくフードサイエンス研究所平成17年度助成研究報告書